



図書館クイズ

今年、近代文学の基礎を築いた「坪内逍遙」が太田町で生まれてから、160年目にあたります。さて、逍遙がその作品を翻訳して、日本で紹介したイギリスの劇作家は誰でしょう。

秋と読書

私の読書の楽しみ方

中島 千恵

今年度、図書館教育の推進担当になった縁でこのお話をいただいた時、大変戸惑った。自分自身の読書に関わって、自分でもちよつと変わったと思っているからだ。恥ずかしいけれど、私の読書について紹介させていただきます。

まず、私が手にする本のほとんどが9類。それも小説だ。三十年以上も教員の立場でありながら、教育に関する本や自己啓発本は敬遠しがちである。しかも、夏休み中など比較的時間に余裕があるときはそれほどでもないのに、なぜか学期初めや学期末の忙しいときに限って無性に読みたくなり、我慢ができなくて読書に走り後悔したことまたびたびだ。「現実逃避？」なんて同僚から言われることもあったが、少し違う。うまく言えないが、たまたまなく忙しい時期だからこそ、読書が凝り固まった頭をマッサージしてくれる、そんな気がする。もう一つは、ミーハーのような本の選び方。この頃、特にテレビで「番宣」と言われる告知を目にするようになった。「ついに、映画

七つの会議

池井戸潤



化！なんてキャッチフレーズをみると、これまで気にならなかった本な

のに、話題になるとたまらなく読みたくなくなり、さっそく書店に向かつて購入する。最近では、「七つの会議」(池井戸潤作)。こうして手にした本の読み方には特別な楽しみがある。映像化されると、公開や放映の前に出演する俳優さんらや撮影シーンが放送されるので、登場人物や場面のイメージがより具体的になる。それを「あの俳優はこんな風にセリフをいうのかな」「この場面告知で見たところだ」などと話に出る会話シーンや場面の様子を当てはめながら読むことが楽しい。読み終えたら「次は映画館へ」と考えることもあるが、読書スビードが遅いのでまず公開は終わっている。それに、昔一緒に映画館に行った娘から、「お母さん、すぐ寝ちゃう。」と言われたことがあるように、ふかふかの椅子に体を預けすべて受け身の映画館での鑑賞は、私の性格には不向きなことはよくわかつている。だから、映像で観ることはそれほど執着はない。むしろ「映画の公開(テレビの放映)時期に原作を読む」このスタイルを密かに楽しんでいる。

きちんとした読書生活を送っていらっしゃる方には、邪道だとお叱りを受けるかもしれないが、これが私の読書の楽しみ方。先週からさっそく「ノーサイド・ゲーム」を読み始めている。

中島さんは、三和小学校の校長先生で、今年度から市内の小中学校の図書館教育の推進担当をしております。

夏休みは図書館へ一人一冊まで借りられます！

7、8月は、中央・東図書館とも朝9時30分に開館します。閉館は、平日は 中央図書館は午後6時で、東図書館は午後8時です。(土日・祝日は、両館とも 午後5時15分まで) 三和の北部分室は、午前10時～午後5時まで閲覧はできます。(貸出日は中央図書館までお問合せ下さい。)

図書館まつり(楽しい催しがいろいろ！)  
東図書館 7月20日(土)～23日(火)  
中央図書館 7月26日(金)～30日(火)

\*人形劇やおたのしみ会、歌の集い、映画会、一日司書体験、図書館探検、ハーバリウム講座、手作り絵本展、雑誌のリサイクル、など  
詳細は、美濃加茂市図書館エドで見る事ができます。お問合せは中央図書館251-7316 東図書館 261-3001

図書館クイズの答え

ウィリアム・シェイクスピア(1564～1616)。劇作家・詩人。「ロミオとジュリエット」や「ヴェニス商人」「ハムレット」「オセロ」など。逍遙は、その全集(全40巻)を完訳して、日本で紹介しました。日本の近代演劇の基礎を築いたともいわれています。

# 読書タイム

市内の学校・園・施設の  
子どもと読書をのぞいてみました

山之上小学校の児童は、読書好きな子が多いです。本が身近にあれば、手に取り、集中して読んでいます。しかし、山之上小学校の図書館は、教室（一・二階）のある校舎ではなく、増築

された新館の三階にあるため、「ちよつと図書館に寄ってほしい」という子が多い

「外遊びに行くぞー」という子の方が多いのが現状です。

そこで、山之上小学校の図書委員会では、より多くの子に、図書館に来て本を借りてもらおう、読んでもらおうと、年に三回、図書委員会が読書キャンペーンを企画しています。まずは図書館に来て、本を借りてもらえるように、様々な取り組みを提案してきました。その中のいくつかを紹介します。

『本を借りて、しおりをもらおう！』児童にスタンプカードを配り、本を借りるとスタンプが押してもらえます。指定された冊数分スタンプがたまると、図書委員会が用意したしおりがもらえます。折り紙作品がもらえるときもあります。



また、図書館への階段踊り場の掲示板には、『本の木』があり、季節に応じて、桜の花・緑の葉・黄色の葉などのカードに、自分のおすすめの本を書き、花や葉をどんどん増やしています。

## 『動物園を作ろう！』

本を借りると、動物カードがもらえます。教室にある動物園の柵や池の台紙に貼って、賑やかな動物園をみんなで作ります。

## 『クラスでパズル完成！』

学年に応じて指定された冊数を借りたら、一人に一枚パズルのピースが渡されます。元の絵に、人数分の画用紙（ピース）を貼っておき、はがしていくと絵が現れるパズルのパズルもあります。

## 『分類番号でビンゴ！』

3×3マスの枠に、0・5・9・Eの分類番号を書き、ビンゴできるように意識して本を借ります。いつもなら近づかないような書架を見て、本を選び、新しい発見をしたり、今までとは違うことに興味をもったりした子が多くいたと思います。

# 山之上小学校



## 「まよなかかいぎ」 浜田桂子/作

理論社 ¥1380+税



ゆうきくんがぐっすり眠った真夜中に、ランドセルの中からたくさんの文房具たちが出てきました。そして、何やら会議を始めましたよ。ゆうきくんが今日学校で頑張ったことを報告しています。ゆうきくん、明日も学校楽しんでね！



## 「いたずらおばあさん」たかどのほうこ/作

フレーベル館 ¥1100+税



84歳のエラババ先生は、1枚着ると1歳若返るという不思議な服を発明します。これをヒョコルさんと、数だけ着て、二人とも8歳の女の子になったのです。そして、いばっている大人たちをぎゃふんといわせてしまいます。なんて頼もしいおばあさん！いやおばあさんで子ども！



# この本 読んでみて！



## 「百貨の魔法」 村山早紀/作

ポプラ社 ¥1600+税



「いらっやいませ」。風早の街にあるふる〜い星野百貨店。そこには、つぶやいた願い事をかなえてゆく魔法の子猫がいるという。百貨店を愛する人々の真心が奇跡を起こすのか？ 優しい気持ちになれる物語です。



## 「読む力は生きる力」脇 明子/著

岩波書店 ¥1600+税



本を読む子になってほしい。大概の親はそう思う。じゃあ何故、子どもに本が必要なの？ 「大事なものは、本を読むことそれ自体ではないのです。」と著者は言っています。子育て中に出会いたかった本です。



このコーナーで本を紹介しているのは、市内の学校司書3人と東図書館司書です。